学校番号	107

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校「数学Ｃ」（数研出版）						
副教材等	「４プロセス 数学Ⅱ＋B＋C」（数研出版） 「チャート式　基礎からの 数学Ⅱ＋B＋C」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業内での問題演習の時間は、自ら考え、自らの力で問題に取り組みましょう。また、周りの人と協議した上で、解答を導き出してもかまいません。
・日々の授業を大切にし、授業で習った内容は、必ずその日の内に理解しましょう。そのために復習を大切にし、わからない場合は先生や友達に聞くなどして、わからないところをわからないままにしないようにしましょう。
・問題集に取り組む前に、授業ノートを見直して授業内容を復習しましょう。授業内容に準じて利用する公式を思い出し、丁寧な解答を目指して途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをし、自分がどこでつまずいたか確認して、再度解答してみましょう。
・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まで諦めずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2)　大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3)　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学的な表現の工夫について認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力を身に付けている。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	平面上のベクトル	1　ベクトルの意味	a：ベクトルの意味，相等などについて理解している。	定期考査 小ﾃｽﾄ		
		2　ベクトルの加法・減法・実数倍	a：ベクトルの和，差，実数倍，平行，分解について理解し，それらを図示したり求めたりすることができる。 c：多項式の演算法則と関連付けて，ベクトルの演算法則を考えようとしている。	定期考査 小ﾃｽﾄ		課題ﾉｰﾄ ふりかえりｼｰﾄ
		3　ベクトルの成分	a：ベクトルの成分表示について理解し，演算，分解，平行についての問題を成分表示を利用して解くことができる。 b：ベクトルの成分表示を利用して，座標平面上の図形の問題を解決することができる。	定期考査 小ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	
		4　ベクトルの内積	a：ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解している。 b：ベクトルの内積及びその基本性質を，様々な場面に応用することができる。	定期考査 小ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	
	ベクトルの応用	1　位置ベクトル	a：数列の極限について理解し，極限と四則や大小関係の性質をもとに，さまざまな数列の極限を求めることができる。 b：数列の極限と大小関係の性質を利用して，数列の極限を考察することができる。	定期考査 小ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	

		2　ベクトル方程式	a：無限等比数列の収束，発散について理解し，これをもとにさまざまな数列の極限を求めることができる。 b：数列$\{r^n\}$の極限をもとに，式を多面的に捉えたり目的に応じて変形したりして，極限を求める方法を考察することができる。	定期考査 小ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	
	空間におけるベクトル	1　空間における座標	a：空間の座標について理解し，対称な点の座標や 2 点間の距離，座標平面に平行な平面の方程式を求めることができる。	定期考査 小ﾃｽﾄ		
		2　空間におけるベクトル	a：空間におけるベクトルの意味や演算，内積などについて理解している。 c：空間におけるベクトルの意味や演算，内積などについて，平面の場合と関連付けて考えようとしている。	定期考査 小ﾃｽﾄ		課題ﾉｰﾄ ふりかえりｼｰﾄ
		3　位置ベクトルと空間図形	a：空間における位置ベクトルについて理解し，様々な点の位置ベクトルを求めることができる。空間座標を用いて，球の方程式を求めることができる。 b：位置ベクトルを利用して，空間図形の性質について考察することができる。位置ベクトルを利用して，空間における点の位置について考察することができる。位置ベクトルを利用して，空間における点と直線の位置関係について考察することができる。	定期考査 小ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度